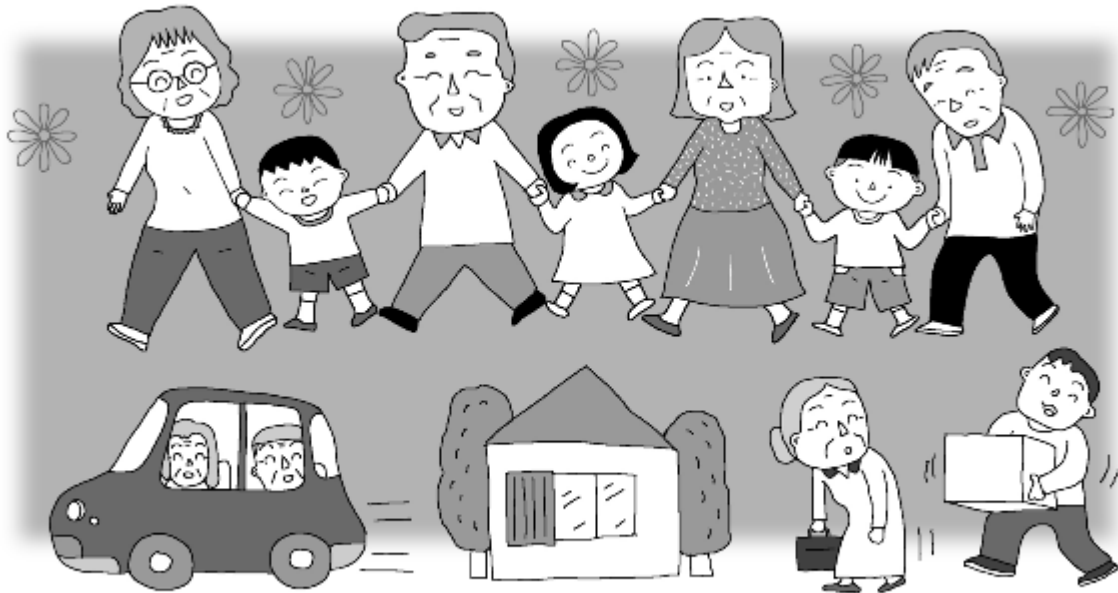


# 子ども・若い人・元気な高齢者で地域の支えあいをつくりましょう。 子ども・高齢者が安心して生活できる地域づくりを進めます。

南北に細長い嵐山町、外出が不便です。電話で予約をしておくと買い物・病院・駅・学校など、同じ方向に行く人の家まで自動車で迎えに来てくれて目的地まで連れて行くリーズナブルな料金のお出かけサポートや、小中学生もボランティアに参加する仕組みをみんなで一緒につくりましょう。

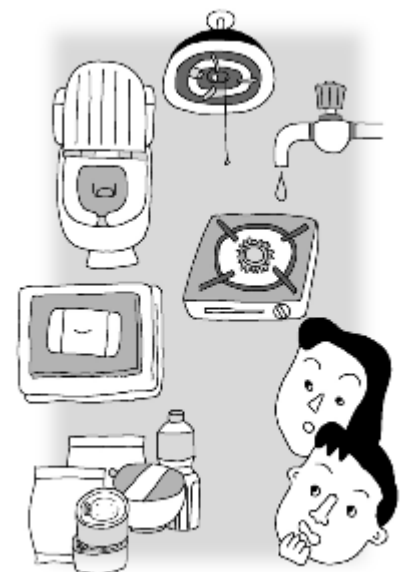


## 嵐山町は深谷活断層のど真ん中に位置しています。

地震の被害予想では、北部地区の被害が多くなっています。

必要なことは、家族の安否確認ができること・安全安心な空間があることです。

- ♥減災の準備・各地区に防災倉庫ができました。
- ♣緊急時に、きめ細かく対応できるように見直します。
- ♠地域の支えあいで、地震時の被害を小さくできます。
- ◆地域の支えあいの仕組みを考えていきます。



# まちづくりにIT技術を利用しましょう。 東日本大震災では、携帯電話のメールが活躍しました。

ソーシャルネットワーキングサービス(インターネットを活用した社会的なコミュニケーション空間)は、日中嵐山町にいない人と嵐山町を結びつけることができます。



被災地のボランティア募集・物資募集・物資提供・ボランティア活動など、互いを結び付けることに活用されています。

一人でお出かけが難しい人、一人暮らしの人への小さな助け合いに役立ちます。

大人は携帯電話を活用するようになりました。  
まちづくりに活用しましょう。

## 議会改革を進め、公正で開かれたまちづくりを 政策をつくり、情報提供し、町の課題を皆さんに説明する議会に！

◆議会改革が進みました。残念ですが、議員が代表である補助金団体への優遇が続いています。裁判で、嵐山町土地改良団体連絡協議会、部落解放同盟嵐山支部への補助金の使途がわかりました。

公平でしょうか。補助金のあり方??  
直面する課題に活用するほうが有効では??

- ◆部落解放同盟嵐山支部補助金69万円は、活動費・会議参加費という日当や、食事代、旅費、新聞代、土産代、集会負担金等に支出されています。妥当でしょうか?
- ◆嵐山町土地改良団体連絡協議会補助金74万5千円は、雇用している事務員給与半額分です。団体運営を合理化できないでしょうか?

本年6月、議会基本条例を制定しました。  
つくっただけに終わらない議会にします！



平成22年度分・渋谷とみこの会計

議員報酬・3,888,680円、税金・111,200円、社会保険料(議員年金保険料含む)・1,135,310円  
あれこれ通信紙代・45,486円、裁判費用(弁護士依頼)・371,000円(渋谷負担分のみ)

▶今年6月から議員年金が廃止されました。個人的には将来の年金がなくなり心配です。

ですが、議員個人負担・町負担が大きすぎ、社会保障改革にマイナスだったので、よかったと思っています。